平成 2 9 年

第 3 回東栄町議会定例会 会議録

(第 3 日)

平成 2 9 年 9 月 2 0 日 (水)

平成29年第3回東栄町議会定例会会議録

招集年月日 平成29年9月20日(水) 開議 午前10時00分
閉会 午後 0時13分

招集場所 東栄町役場 会議室

応招議員 (10名)

<u>1番 伊藤久代</u>	<u>2番 原田安生</u>
<u>3番 村本敏美</u>	<u>4番 森田昭夫</u>
<u>5番 加藤彰男</u>	<u>6番 山本典式</u>
<u>7番 峯田明</u>	<u>8番 柴田吉夫</u>
<u>9番 伊藤紋次</u>	<u>10番 伊藤芳孝</u>

不応招議員 なし

<u>1番 伊藤久代</u>	<u>2番 原田安生</u>
<u>3番 村本敏美</u>	<u>4番 森田昭夫</u>
<u>5番 加藤彰男</u>	<u>6番 山本典式</u>
<u>7番 峯田明</u>	<u>8番 柴田吉夫</u>
<u>9番 伊藤紋次</u>	<u>10番 伊藤芳孝</u>

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	村上孝治	副町長	伊藤克明
教育長	平松伸一	総務課長	長野好孝
税務会計課長	前地忠和	振興課長	伊藤明博
地域支援課長	加藤文一	住民福祉課長	原田英一
経済課長	金田新也	事業課長	伊藤久司
教育課長	内藤敏行		

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 栗嶋賢司 書記 佐々木豊

出席議員の報告

- 日程第 1 委員長報告
- 日程第 2 認定案第 1 号 平成 28 年度東栄町一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 3 認定案第 2 号 平成 28 年度東栄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 4 認定案第 3 号 平成 28 年度東栄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 5 認定案第 4 号 平成 28 年度東栄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 6 認定案第 5 号 平成 28 年度東栄町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 7 認定案第 6 号 平成 28 年度東栄町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 8 認定案第 7 号 平成 28 年度東栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 9 認定案第 8 号 平成 28 年度東栄町御殿財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 10 認定案第 9 号 平成 28 年度東栄町本郷財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 11 認定案第 10 号 平成 28 年度東栄町下川財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 12 認定案第 11 号 平成 28 年度東栄町園財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 13 認定案第 12 号 平成 28 年度東栄町三輪財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 14 認定案第 13 号 平成 28 年度東栄町振草財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 15 認定案第 14 号 平成 28 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第 16 議案第 5 2 号 東栄町町税条例の一部改正について
- 日程第 17 議案第 5 4 号 平成 29 年度東栄町一般会計補正予算（第 4 号）について
- 日程第 18 議案第 5 5 号 平成 29 年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 日程第 19 議案第 5 6 号 平成 29 年度東栄町介護保険特別会計補正予算（第 2 号）について
- 日程第 20 議案第 5 7 号 平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第 2 号）について
- 日程第 21 議案第 5 9 号 東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正について
- 日程第 22 議案第 6 0 号 平成 29 年度東栄町一般会計補正予算（第 5 号）について
- 日程第 23 議案第 6 1 号 平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第 3 号）について
- 日程第 24 意見書第 1 号 道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書

(案) の提出について

日程第25 意見書第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書(案)の提出について

日程第26 議会運営委員会の閉会中の継続審査について

開 会

議長(伊藤芳孝君)

ただ今の出席議員は10名でございます。欠席はありません。定足数に達していますので、ただ今から『平成29年第3回東栄町議会定例会』を開会いたします。

ただちに本日の会議を開きます。本日の議事日程は、予めお手元にご配布を申し上げてあるとおりでございます。

追加上程

議長(伊藤芳孝君)

ここでお諮りいたします。日程第20の次に、日程第21議案第59号『東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正について』、日程第22議案第60号『東栄町一般会計補正予算・第5号について』、日程第23議案第61号『東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第3号について』、日程第24意見書第1号『道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書案について』、日程第25意見書第2号『定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書案の提出について』、日程第26『議会運営委員会の閉会中の継続審査について』の案件が、本日追加提案されましたので上程したいと思いますが、これにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって日程第21から日程第26までの6案件を追加することに決定いたしました

委員長報告

議長(伊藤芳孝君)

日程第1、委員長報告を行います。去る、9月7日の本会議におきまして、各委員会に付託いたしました案件に対する審査結果につきまして、各委員長に報告を求めたいと思います。

----- 委員長報告（決算特別委員会） -----

議長（伊藤芳孝君）

初めに『決算特別委員長』からお願いします。

（「議長、9番」の声あり）

はい、9番。

8番・決算特別委員長（伊藤紋次君）

それでは、東栄町議会決算特別委員会の委員長報告をさせていただきます。

去る9月7日の本会議におきまして、本委員会に付託されました付議事件は、認定案第1号「平成28年度東栄町一般会計歳入歳出決算認定について」から認定案第14号「平成28年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計歳入歳出決算認定について」までの14案件でありました。

これを受けまして、9月12日の午前10時より、当会議室において決算特別委員会を開催いたしました。決算特別委員会の委員長及び副委員長は、選任の結果、私が委員長、柴田吉夫委員が副委員長の職務を行うこととなりました。出席者は、議会側は委員全員と議長、町側からは町長をはじめ副町長、教育長、各課長並びに会計管理者の出席のもと、慎重に審査を行いました。

以下審査の経過と結果についてご報告いたします。なお、本委員会は、議員全員で構成されており、全員が出席しておりましたので、質疑の詳細は省略させていただきます。

まず始めに、認定案第1号「平成28年度東栄町一般会計歳入歳出決算認定について」の審査を致しました。歳出及び歳入の質疑を行い、討論はなく、採決の結果「原案のとおり承認すべきもの」と決しました。

次に、認定案第2号「平成28年度東栄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について」、認定案第3号「平成28年度東栄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」の審査を順次行いました。いずれも質疑・討論はなく、採決の結果「原案のとおり承認すべきもの」と決しました。

次に、認定案第4号「平成28年度東栄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について」の審査を行いました。歳出及び歳入の質疑を行い、討論はなく、採決の結果「原案のとおり承認すべきもの」と決しました。

次に、認定案第5号「平成28年度東栄町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について」、認定案第6号「平成28年度東栄町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定案第7号「平成28年度東栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定案第8号から認定案第13号までの「平成28年度各財産区特別会計歳入歳出決算認定について」、認定案第14号「平成28年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計歳入歳出決算認定について」の審査を順次行いました。いずれも質疑・討論はなく、採決の結果「原案のとおり承認すべきもの」と決しました。

以上で、決算特別委員会の委員長報告を終わります。

議長（伊藤芳孝君）

決算特別委員長の報告が終わりました。続いてこの報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

以上で質疑を打ち切ります。

----- 委員長報告（総務経済委員会） -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、『総務経済委員長』に報告を求めます。

（「議長、8番」の声あり）

はい、8番。

8番・総務経済委員長（柴田吉夫君）

総務経済委員会に付託をされた審議報告をいたします。

総務経済委員会は、去る9月7日本会議におきまして議案2件を付託されました。これを受けまして、9月14日（金）午前10時より会議室におきまして、委員全員と、執行部より町長はじめ副町長、所管課長、主幹、課長補佐、係長ならびに議会事務局長出席のもと、付託された議案2件について審査いたしました。

審議の経過と結果についてご報告を申し上げます。付託されました案件は、議案第52号『東栄町町税条例の一部改正について』、議案第54号『平成29年度東栄町一般会計補正予算（第4号）について（関係分）』の2案件であります。

議案第52号『東栄町町税条例の一部改正について』を議題とし質疑に入りましたが、本件につきましては、特に質疑、討論なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第54号『平成29年度東栄町一般会計補正予算（第4号）について（関係分）』を議題し、総務経済委員会所管の歳出第2款総務費補正予算説明書の8ページと9ページの質疑に入りました。

委員より「8ページ、2款・1項・4目・財産管理費、13節・委託料、15節・工事請負費の電気自動車引き渡し等に関する件について。電気自動車の引き渡し、運行開始の時期はいつ頃なのか。また、役場に充電設備を設置することのだが、温泉に設置してある充電設備も使えるのか。」との質問。担当係長より「車両は本予算が議決されれば9月末ごろ横浜まで持ちに行く。その後、車検証の名義変更を行う。温泉に設置してある充電器はカードで精算をしておると思うが、貸与されておる電気自動車は充電装置もあるので、役場敷地内に設置して夜間電力を使った充電を考えている。」との回答。

また委員より「充電設備工事は運行開始までに間に合うか。」との質問。担当係長より「工

事は議決後に発注するが、工期は約2週間ぐらいであり支障はないと思う。」との回答。

委員より「充電設備は公用車の充電のためのもので、一般の利用はできないという認識でよいか。」との質問。担当係長より「電気自動車専用の充電設備で、200Vの電源で充電する。公用車専用で、一般の利用はできない。」との回答。

また委員より「3年間の貸与という事で、貸与期間が終了して自動車を返却した場合、電気設備がもったいないような気がするがどうか。」との質問。担当係長より「貸与期間満了で返還ということになるが、その件については今後協議をしていきたい。」との回答。

また委員より「8ページ、2款・1項・1目・一般管理費、13節・委託料、メールサーバー関連委託料について。町のホームページで志多らの太鼓、花祭の音、川のせせらぎなど、東栄町の「音」にまつわる情報発信も良いと思う。このような「音」の着信音をダウンロードできるようにすることを考えたことはないか。」との質問。担当課長より「町のホームページのリニューアルに向けて準備を進めており、10月2日より新たなホームページがスタートする。着信音のダウンロード等は考えていないが、観光まちづくり協会とも調整をし検討していきたい。」との回答。

また委員より「容量や技術的な問題はあるかも知れないが、他の自治体ではやっていないことなので、東栄町をイメージできる「音」を発信出来たら良いと思う。検討願いたい。」との要望がありました。

次に、5款・農林水産業費、第6款・商工費、第7款・土木費、第8款・消防費、13ページから18ページまで。質疑に入りました。

委員より「14ページ、5款・2項・2目・林業振興費の13節・委託料について。カモシカ捕獲委託料は前年度決算82万6千円であった。今年度予算は規定額が77万6千円で、今回の補正の5万1千円を足すと前年度決算額と同じぐらいになる。捕獲頭数が制限されておることからこのような額になるのか。また、有害鳥獣駆除委託料の当初予算は501万4千円で、今回463万6千円の補正で、併せると今年の倍近くになる。捕獲頭数が増えたとの認識でよいか。」との質問。担当課長より「カモシカの捕獲については、文化庁の許可が年間14頭と決まっており、金額がほぼ一定になる。今回の補正は、当初予算で単価の取り違えをしたために補正をお願いをするものである。また有害鳥獣の捕獲については、年々増加傾向にあり、特に今年度は高い伸びになっている。実績を基に年間分を見込むと、予算不足を生じることが予想されるため補正をお願いする。特にニホンジカの捕獲頭数が増えている。」との回答。

また委員より「15ページ、6款・1項・2目・商工振興費、13節・委託料、特殊建築物定期調査報告、防火設備定期検査について。詳細を説明願いたい。」との質問。担当課長補佐より「産業会館の調査である。特殊建物の定期調査は建物全般の調査を行うが、昨年度、建築基準法の改正があり、防火設備の定期検査が追加され、防火戸や防火シャッターの点検が義務付けされた。高層の建物は煙が階段を上っていくために、防火戸や防火シャッターが正常に動くかどうかを業者が検査する。」との回答。

また委員より「防火設備の定期検査は新規、特殊建築物定期調査は昨年度実施しなかったが、今回新たに実施するという認識でよいか。」との質問。担当課長補佐より「お見込みのとおりである。特殊建築物定期調査は今年度から3年に1回実施する。」との回答。

委員より「15ページ、6款・1項・2目・商工振興費、19節・負担金補助及び交付金の起業家支援補助金の実績について。」との質問。担当課長補佐より「実績は当初予算で100万円を

計上していた。月地内で飲食店を営む方が500万円を借り入れし、5分の1の100万円を補助した。本補正予算の40万円については、ピザの移動体験用の車両等の購入で200万円を借り入れした方に、5分の1の40万円を補助するものである。」との回答。

委員より「補助金の限度額はいくらか。」との質問。担当課長補佐より「100万円である。」との回答がありました。

また委員より「15 ページ、6 款・1 項・3 目・観光費の愛知大型観光キャンペーン事業の詳細について。」質問がありました。振興課長より「当事業は、平成30年10月から12月にかけて愛知県内で開催される。JRグループ、各自治体、各観光団体等が協力し全国規模のキャンペーンである。JRグループが全国で集中的にPRし、愛知県の誘客を行うことで地域の活性化を目指すものである。また本年はプレの愛知大型観光キャンペーンとして10月31日から11月2日まで開催される。東栄町も観光コースに含まれており、東栄町の魅力やキャンペーンに向けた観光の取り組みを旅行者に紹介し、働きかけるための費用を補正するものである。」との回答。

委員より「愛知県の事業であるが、プレなので一般財源であるという解釈でよいか。また、具体的な内容はどのようなものか。」との質問。担当課長より「補助金の対象にはならない。それぞれの自治体が自らPRをするという観点から、一般財源で賄う事になっている。内容は、11月1日から1泊2日で実施される豊橋以北のコースの中に東栄町が含まれており、のき山で、志多ら太鼓による歓迎、町内の特産品の紹介や試食を旅行者に向けて紹介をしながら東栄町を発信していく。」との回答。

委員より「平成30年度の本番のキャンペーン事業についても補助金は無いか。」との質問。担当課長より「県から具体的に示されていないが、自らの観光PRであるため、一般財源であると想定している。」との回答でありました。

また委員より「17 ページ、7 款・2 項・5 目・急傾斜地対策事業費、19 節・負担金補助及び交付金、急傾斜地崩壊対策事業負担金について。当初予算は目取りであったが、今回284万9千円の補正である。場所は御園地内と三輪地内の事業に係る負担金と理解してよいか。」との質問。担当課長より「当初は金額が確定していなかった。今回事業費が確定したため補正をお願いする。地区はお見込みのとおり御園・坂場地内と、三輪・山の上田地内である。」との回答。

以上で歳出を終わり、続いて歳入は、全般について補正予算説明書の3ページから7ページまで質疑に入りました。特に質疑なく、討論に入りましたが討論もなく、議案第54号『平成29年度東栄町一般会計補正予算（第4号）について（関係分）』の件は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会終了時間は午前10時25分でした。以上で総務経済委員会に付託された議案の審議経過と結果について報告を終わります。

引き続き、総務経済委員会協議会の報告をさせていただきます。総務経済委員会協議会は、平成29年9月14日（木）午前10時27分から委員全員出席のもと会議室で開催をいたしました。

委員会協議会の内容は、去る8月30日に開催された議会運営委員会において、東栄町議会議長あてに提出された「全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情書」1件の審査を付託されましたので、その取扱いについて審査いたしました。

慎重審査の結果、陳情書は「議長預かり」といたしました。以上で委員会協議会は終了いたしました。終了は午前10時47分でした。以上で総務経済委員会協議会の報告を終わります。

議長（伊藤芳孝君）

総務経済委員長の報告が終わりました。続いてこの報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。

----- 委員長報告（文教福祉委員会） -----

議長（伊藤芳孝君）

次に『文教福祉委員長』に報告を求めます。

（「議長、5番」の声あり）

はい、5番。

5番・文教福祉委員長（加藤彰男君）

文教福祉委員会の審査結果を会議規則第39条の規定により報告いたします。

本委員会には、議案第54号「平成29年度東栄町一般会計補正予算（第4号）の（関係分）について」、議案第55号「平成29年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第56号「平成29年度東栄町介護保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第57号「平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第2号）について」の計4議案が付託されました。

9月15日の委員会審査の結果、議案第54号「平成29年度東栄町一般会計補正予算（第4号）の（関係分）について」は、賛成3名・反対1名の賛成多数で可決、また議案第55号「平成29年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第56号「平成29年度東栄町介護保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第57号「平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第2号）について」の計3議案は全会一致で、それぞれ原案どおり可決すべきものと決しましたので報告いたします。

以下、審査において質疑・答弁があった議案について、主な内容を報告いたします。なお議案第55号「平成29年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第56号「平成29年度東栄町介護保険特別会計補正予算（第2号）について」、議案第57号「平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第2号）について」の3議案については、議案への質疑はありませんでしたが、議案第57号については関連質問がありましたので、併せて報告いたします。

では、議案第 54 号「平成 29 年度東栄町一般会計補正予算（第 4 号）の（関係分）について」の質疑です。

委員より「11 ページ・3 款 2 項 2 目・保育園費の 1 節・報酬について、嘱託職員の報酬の増減額の理由と保育士不足の背景」について質問がありました。担当課から「年度当初の職員配置は嘱託職員 3 名だったが、うち 1 名が勤務できなくなり、補充として臨時職員 1 名分の賃金を補正予算で計上した。なお報酬と賃金の差額は、7 月の保育士の 1 名の退職と、その後嘱託の保育士を任用した差額である。保育士不足の背景は国の政策とも関係し、保育士の需要に追いつかない現状がある。また町内の保育士は、保育士資格を得て保育士として戻ってくる人も減っている現実もある」との回答でした。

委員より「11 ページ、3 款 2 項 2 目・保育園費の 13 節・委託料の新保育園設計委託料に関して、設計委託料の積算根拠と新保育園の建設費とさらに財源について説明を求める」との質問がありました。住民福祉課長から「国土交通省の官庁施設の設計業務等の積算要領に基づいて積算すると設計業務の報酬が約 2,600 万円となった。これは試算なので、設楽町の名倉保育園を参考にして 77%の係数をかけ、消費税を加えて算出したものが 2,160 万円である」との回答でした。副町長から「新保育園の建築費は、90 名定員の保育園に必要な床面積等を勘案し、概算で約 4 億円近くと考えている。財源は、林野庁の「次世代林業基盤づくり事業」の補助の他に、全体の事業の調整も図りながら「過疎債」の枠や町の基金のうち「児童福祉基金」の 6,400 万円の利用も考えている。まだ決めてはいないが「地域福祉基金」の 1 億 5,000 万円の活用も検討したい」との回答でした。

委員より「説明のような財源を使えば、保育園建設は財政的にも大丈夫であると判断しているということか」の質問がありました。町長より「起債の残高も増えて将来負担比率も 3.3 ポイント上がったが、今の段階では建設できると思っている。総合計画の実施計画でも保育園建設を位置付けていかなければいけない。保育士の確保が厳しい中、保護者から早朝保育、延長保育、休日保育などの希望もあり、保育士の働く環境も整えなければならない。保育園のことだけではなく、町全体の事業計画を考えて、健全財政に努めることは当然である。保育園建設の件は、短期間の中で議会にお願いをするという状況だったが、今後反省する材料だと思っている。今年度から行政の委員会から議員は全て外れたので、今後は必要に応じて所管の委員会等の委員長と協議をさせて頂きたい。議会との協議会の場を持つことも今後に生かす反省材料と思っている。建設費は、財政計画の中で最大 4 億円ぐらいだと思っている。構想から実施計画に移る期間が半年あるので、その都度状況等を議会に報告させていただき、当初予算に関わる部分は 12 月に議会からご意見をいただくような機会を作りたい」との回答でした。

議長より「保育園の厨房の環境が劣悪だという苦情もあった。一般質問でも取り上げられ、今すぐの改修ではなく、保育園統合の時に対応するという回答だった。また本郷保育園の遊戯室も狭く、いよいよ新保育園建設の時期が来たと思っている。都市では保育園の建設に対して、交通問題や騒音などから反対もある。今回の保育園の建設予定地は小学校の横であるが、音による影響が心配されるが、どうか」との質問がありました。住民福祉課長から「音のことは、職員や子ども子育て会議の中でも出ている。新都市の千郷保育園や設楽町の名倉保育園、豊根村の小中学校と保育園など同じような条件のところがある。これらを参考にしながら、今後の設計に反映していけば予定地でも小学校と保育園が問題なく運営できると考

えている」との回答でした

委員長より「今回の質疑では、保育園建設の件で先の全員協議会の説明より、更に詳しい説明があった。定例会の最終日に口頭での説明、または補足資料として出すことは可能か」との発言がありました。町長から「今回の質疑の内容は当然説明をしなければならないので、財源も含めて課長から説明をさせていただく」との回答でした。

続いて議案第 57 号・平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算（第 2 号）についての関連質問です。

委員より「関連質問をお願いしたい。テレビ、新聞等で東栄病院が診療所になるという報道があり、町民から話を伺うことが多い。もう少し町民にわかりやすい説明が必要ではないかと思う。すぐに病院がなくなるというイメージを与えては町民が動揺してしまうのではないか。町の考え方を聞きたい」との質問がありました。住民福祉課長から「議会には全員協議会で、地域包括ケア推進協議会から出た計画や医療構想、医療基本計画等の中間報告として考えているスケジュールとして、来年は現在の規模で公設公営とし、その後は状況によって病院が維持できない場合は有床診療所、さらに状況によっては無床診療所になるかもしれないとのこと。その背景として、新しい医療センターとして開設する時には医師・看護師の確保等の人的な問題で無床診療所もやむを得ないということでご理解いただいていると思っ

ている。中京テレビの放送では「病院が無くなる」というところから始まっており、中日新聞は「診療所化」が見出しに出ていて、町民に不安が広がり心配される方はかなりいると思う。住民にどのような形で正しい情報を、どのタイミングで知らせるか町長、副町長と打ち合わせをしてやっていきたい。できるだけ伝える努力をしたい」との回答でした。

続いて委員より「テレビ、新聞の報道で、東栄町民だけでなく、豊根村の人からもベッドが無くなることを心配している。前回の村長選挙での大きなテーマだった病院問題とも矛盾するのではないかという心配である。町民だけでなく、北設の医療の中でどのような位置付けになるかも議論の中で構築していただきたい。その点はどうか」との質問がありました。住民福祉課長から「保健所を含め県には中間報告を事前に相談している。郡の関係は、10月4日の「北設楽郡医療等に関する協議会」で説明をして意見を伺う予定である。確定的な説明はできないが、適時適切に情報を共有して郡での連携を進めていきたい」との回答でした。

委員より「テレビや新聞の報道によって、既に決定していると受け止められてしまうことに問題がある。報道された後は厳しくチェックをしないと町民は非常に動揺してしまう。東栄病院は町の病院であるが、北設の人々の命を守ることでもある。郡内の議員から「応分の負担をする」旨の声も多く聞く。北設の人たちの命を預かっているということを協議会の皆さんも認識したうえで議論していただきたい。事前に資料を配付して考えられるような体制をとって、十分な審議をして頂きたい」との意見がありました。町長から「病院を公設公営に戻す件は、9月19日に職員への説明を予定している。現在の問題は人材不足が一番のネックで、これはお金では解決ができない。自治医大の医師の確保や看護師の不足が一番のネックで、これに尽きる。町の就職支度金貸与 300 万円や郡の協議会の就職助成金の 30 万円などの制度でも確保できない状況である。地域包括ケア推進協議会では今年度から部会を開催し協議をして、中間段階での報告としたが、マスコミは先の記事や放送内容のような報道になってしまう。せせらぎ会は1年という指定期間しかないが、へき地中核病院という位置付け

は守りたいと思う。医師の確保ができないという状況で、将来に向かって病院が維持できなければ、当然診療所に変わらざるを得ないという状況である。医療スタッフが残ってくれるかという点もある。医療問題は皆さんと一緒に議論しないと行き詰ってしまう。財政も潤沢ではないので、何かが増えれば何かを削らなくてはならない。皆さんと一緒に知恵を出したいと思っている。皆さんのご協力をお願いしたい。定例会が終わった段階で病院や区長会に説明をし、保育園の件も含めた住民説明会も開催したい」との回答でした

以上で文教福祉委員会審査報告を終わり、続いて文教福祉委員会・協議会の報告を致します。文教福祉委員会協議会では、送付されました4件の陳情書について協議を行いました。

はじめに「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情について」は、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率1/2への復元に向けて、意見書を政府に提出願いたいという内容であり、協議の結果「採択」とし、国に対する「意見書」を本日追加上程させていただきます。

次に「国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」については、『父母負担の公私格差を是正するための就学支援金一層拡充及び、国庫補助金・地方交付税交付金・経常費補助の一層の拡充を図ることについての意見書を国に提出願いたい』との内容で、協議の結果「議長預かり」といたしました。

また「愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書」については、『父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財政措置がなされる「国基準単価」を土台に、学費と教育条件の公私格差を着実に是正できる施策を実施することについての意見書を県に提出願いたい』との内容で、協議の結果「議長預かり」といたしました。

「私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書」は東栄町議会に対する陳情で、『平成29年度予算において「教育の機会均等」の理念をひきつぎ、私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために、私立高校生に対する現行の市町村独自の授業料助成を拡充してください』との内容で協議の結果「議長預かり」といたしました。

以上で文教福祉委員会の審査報告及び文教福祉委員会協議会の報告を終わります。

議長（伊藤芳孝君）

文教福祉委員長の報告が終わりました。続いてこの報告に対する質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

質疑を打ち切ります。以上で、各委員会の委員長報告を終了します。

----- 認定案第 1 号 -----

議長（伊藤芳孝君）

これより各案件の審議に移ります。各認定案につきましては、去る 9 月 12 日の『決算特別委員会』において十分審査をしていただいておりますので質疑については、簡略にお願いします。

それでは、日程第 2、認定案第 1 号『平成 28 年度東栄町一般会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。

認定案第 1 号の質疑に入ります。歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で歳出を終わり、続いて歳入全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で認定案第 1 号の質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第 1 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第 1 号『平成 28 年度東栄町一般会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

----- 認定案第 2 号 -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 3、認定案第 2 号『平成 28 年度東栄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認

定について』の件を議題といたします。認定案第2号の質疑に入ります。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第2号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

ご異議なしと認めます。よって、認定案第2号『平成28年度東栄町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

----- 認定案第3号 -----

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第4、認定案第3号『平成28年度東栄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第3号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第3号『平成28年度東栄町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

認定案第4号

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第5、認定案第4号『平成28年度東栄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第4号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第4号『平成28年度東栄町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

認定案第5号

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第6、認定案第5号『平成28年度東栄町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第5号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

ご異議なしと認めます。よって、認定案第5号『平成28年度東栄町簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

----- 認定案第6号 -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第7、認定案第6号『平成28年度東栄町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第6号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第6号『平成28年度東栄町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

----- **認定案第7号** -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第8、認定案第7号『平成28年度東栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。歳入歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第7号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第7号『平成28年度東栄町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

----- **認定案第8号～13号** -----

議長（伊藤芳孝君）

ここでお諮りいたします。日程第9、認定案第8号から日程第14、認定案第13号までの「平成28年度各財産区特別会計歳入歳出決算認定について」の6案件につきましては、質疑から採決まで一括して行いたいと思いますが、これにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認め、6 案件を一括して議題とし、質疑に入ります。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第 8 号から認定案第 13 号までの 6 案件を一括して採決します。お諮りします。6 案件を認定する事にご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第 8 号から認定案第 13 号までの「平成 28 年度各財産区特別会計歳入歳出決算認定について」の 6 案件については、原案のとおり認定する事に決しました。

----- 認定案第 14 号 -----

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第 15、認定案第 14 号『平成 28 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件を議題といたします。東栄病院事業決算報告書の「収益的収入及び支出」、「資本的収入及び支出」全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、認定案第 14 号の件を採決します。お諮りします。本案は認定する事にご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって、認定案第 14 号『平成 28 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計歳入歳出決算認定について』の件は原案のとおり認定する事に決しました。

議案第 52 号

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第 16、議案第 52 号『東栄町町税条例の一部改正について』の件を議題といたします。議案第 52 号の質疑に入ります。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、討論なしと認めます。これより、議案第 52 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 52 号『東栄町町税条例の一部改正について』の件は原案のとおり可決されました。

議案第 54 号

議長 (伊藤芳孝君)

次に、日程第 17、議案第 54 号『平成 29 年度東栄町一般会計補正予算・第 4 号について』

の件を議題といたします。

議案第 54 号の質疑に入ります。補正予算説明書の歳出全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「議長、8 番」の声あり)

はい、8 番。

8 番 (柴田吉夫君)

歳出 11 ページの保育園費、13 節委託料についてお伺いを致します。このことにつきましては、定例会前の全員協議会におきまして、執行部の方からこういう状況であるという説明がありました。同時に、病院の関係についても報告があったわけでありますが、この保育園、現在 2 園ある訳であります、それを 1 園にまとめて新しい施設を造るという内容でありました。その内容については、今までのいろいろな経過だとかそういうものはご報告をいただきましたが、造るにしても重要な事項、例えば定員をどうするか、想定である。面積はどうだ、想定でこのくらいはかかるでしょう。建物の構造等については想定すらないというようなことで、とにかく委託料 2,160 万円を今議会に上程をするので議決を頼むということしか無かったわけであります。

私としては、子ども子育て会議は 27 年から始められて、どこが主導して始められたのか知りませんが、そこへ執行部も、担当課も加わって今申し上げたようなことが今年の 9 月までに固まったと。その間に議会にこういうことがありますよというようなことは只の一度もなかったと私は記憶をしております。ということで、こういうことが執行部がどんどん行け行けで何でも決めれば、あとは費用の面で議会は粛々とそれを議決していけばいいというふうにお思いなのか。少なくともこれだけは、今、担当の委員会の委員長から報告がありましたように、1 億や 2 億ではできない、そのことをたった一度の全員協議会でよろしく頼む、あとは予算を議決して、来年は建物を建てるんだと。いかにも早急すぎると私は思います、議会というものを執行部 3 役の皆さん、あるいは課長の皆さんはただただそういうものを決めて出せばいいんだと。議決して可決してくれればいいんだということなのか、事前に私は少なくとも大型事業については、こういうことを計画していると、議会の考え方はいかがでしょうかということが事前にあって然るべきだと私は思います。いかにも「議会軽視」と言わざるを得ないような状況であります、今後もそういうふうにやっていくのか。私はもともと前から議会も入って議論をし、方向付けもこういう方向で行けばどうかというような、病院の問題などが後回しにされてしまって、降って湧いたような事業をここでやるというのは、いささか僕は理解できない。

いろいろなことを聞こうと思って本日来ましたが、委員長の方からこのことについてはこういうことで、例えば 2,160 万円の算出根拠は国交省が出している単価表 (積算要領) から算出したとか、そういうことはある程度は詳しく委員会でお詰めいただいたようですので、くどくもからくも言いませんが、こういうやり方は、私は本来の執行部と議会というものがこの地方自治体にあるという観点からすれば、一方的ではないかなあと思わざるを得ません。今後もそういうことでやられるようであれば議会はしっかりしていかななくてはいけないと思いますが、そのしっかりしていかななくてはいけないという目安もできない。何を出されるのか分からんと。これが通れば、次にはこういう建物を委員会や部内で調整しました。これだ

けかかるから議会は議決をしてください、可決してくださいというような手法は政治の在り方ではないと考えております。

担当課長に伺いますが、子ども子育て会議の内容、あるいは担当課、保育園の現場で話したこと、それを持ち上げて町長以下で詰めたこと、そういうものも僕は一度や二度は議会にも報告をしておいた方がいいのではないかと、先日の議会全員協議会までに一度でも考えたことがあったのか、無かったのか。まず、それだけお聞かせください。今後の参考とさせていただきたいと思います。そういうやり方でやるんだったら私も考え直さなくてはならないという事がありますので、そこら辺だけ簡潔にお答えをいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

(「議長、町長」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

町長。

町長 (村上孝治君)

先程、所管の文教福祉委員長さんがお答えしたとおりでありまして、反省材料もあると思っています。子ども子育て会議はご承知のように27年度から始まってまいりました。したがって全員協議会でもお話しさせていただきましたが、それぞれの皆さんが保育のサービスの充実、早朝、延長、休日保育も含めて議論をしてまいりました。27・28年度については、所管の委員長さんがその協議会の中に入っていたいていました。ところが今年度から私どもが当初提案させていただいたとおり、議会は全ての委員会に出ないという方向を決めていただいて、29年度の始動が遅くなり、8月、9月に2回の委員会を開き、なおかつ委員も変わったという状況でした。そして、子育て会議の状況も、中身の問題も含めて情報公開もしておりますし、議事録の公開もしております。そのような状況であり、31年4月の開設を決めたという状況でありました。したがって、その時にお話しをさせていただいたとおり、5日の全員協議会になってしまったという反省材料の中で、やはり所管の委員会の協議会を開いていただいて、その中でご議論していただくということが最善の方法であったということが委員会の中でも答弁させていただいたとおり反省材料として、今後そういうことのないように進めてまいりたいと思っています。

それから、今回は予算計上でありましたので当然設計委託料を計上させていただきましたが、その中でもプロポーザルでありますので、当然定員の状況は子育て会議の中でも議論してきましたが、現状、今後の出産の状況等も含めてご意見がどのくらいあるかという事は当然その中で議論をしていきますので、定員90人という状況を決めてきたという状況であります。したがって、これを先延ばしにしていく状況は議員がおっしゃるとおり、反省材料がありますので、それは今後の反省として、しっかり認識しながら情報提供をしてご議論いただくという状況であります。

今回は県との財源の状況は事務的に動いて参りました。そのことも委員会の中ではご報告させていただきましたが、31年4月の保育園の開園に向けて進みたいという状況を執行部も含めて検討させていただき、課長会の中でもそういう話しをしてまいりました。総合計画は29

年度で実施計画の3か年計画が終わりますので、30年度以降の3か年の実施計画を立てていきます。総合計画の事後評価、評価の委員会もありますので、そこにもかけていくという状況になっていますが、その辺の状況をしっかり踏まえて財政計画も立てて進めていきたいと思っています。したがって、8番議員さんが言われるように、そのようなやり方を常にやっていくという状況を作るつもりもありませんし、しっかり議論できる場を反省として進めていきたいと思っておりますので、そのことをご理解をいただいた中にご判断をお願いしたいと思っています。

(「議長、8番」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

8番。

8番 (柴田吉夫君)

質問回数も限られていますので、しっかり理解すべきところは理解したいと思いますが、決して保育園の整備を否定するとか、あるいは揚げ足を取るとかということではありません。必要に応じてまだまだ59・60年に建設をした保育園ですので老朽化の方向で進行していることは承知をいたしておりますが、しかしながら1年や2年耐えることができないという状況ではないということが1点。それから、先日もお話しがありましたが、保育園の理念だとか、建物を建てる内容が想定であるとか、先程も言いましたが、そういうものは特に、東栄町の保育はこうするんだというようなことは、担当課が保育園と一緒に決めれば議会などには報告をする必要は無いのでしょうか。住民の方々一人に至るまで、東栄町の保育園はこういう保育方針で保育をしていくんだということをお知らせする必要等は無いのでしょうか。あるいは、先程言いましたような建物に関わることで、想定で出してくれば、お金さえ通れば良いというように思っておられるのでしょうか。私は違うんじゃないかと思います。それは議会にもきちっと取り計らって、議会も細かいところまで承知をしたうえで出してくる。その前段の協議として議会の全員協議会があるのではないのでしょうか。町長は「反省するべき点は反省する」と言われましたが、反省するどころの騒ぎではない、これは本当に一回取り下げてもらってでも、このことについて集中的に議会と議論をして間に合わせるような手法が必要なのではないかと思いますが、ちょっと執行部サイドのことが信じられなくなってきました。地元で話してあるのかないのか分かりませんし、27年の親御さんは卒園して保護者でない人もいるだろうし、担当課の委員長さんは1年委員として入られていたと言われましたが、その当時私も文教福祉委員会の委員でありましたが、そういう話しは無かったような気がします。こんな話しをしています、こんな協議をしていますというようなことも委員長さんからの話しは無かったような気がする。そんな大事なことなら、話しさえしてくれば頭のどこかにこびりついていると思うんですが、僕はそういうことが無かった。今回は、そういう委員会に委員として参画すべきではないということを議会改革検討委員会の中で話しをし、執行部にお願いをし、各委員会からは議員としての参画はしておりません。そういうことで今後も行くと思いますが、尚更のことこれからはしっかり議会というものを、はっきり言って軽視しないで、叱られても、多少遅れても議会の理解もいただいて気持ちよく予算

を通すような提案をしていただくように指摘させていただいております。回答は結構です。よろしく申し上げます。

議長（伊藤芳孝君）

はい、他はありますか。

（「議長、4番」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、4番。

4番（森田昭夫君）

私からも一つお伺いをしたいと思います。まず、保育園を今の児童館のそばに造るという話だったんですが、子どもたちのためにという事が大義になっていると思います。しかし、こういったことは検討されたのでしょうか。例えば中学校。中学校は保育園よりも古い建物で、ずいぶん老朽化もしています。たしか、記憶では建設当時は360人ぐらいの定員だったのが、今は60人ですよね。300人も人数が減っている。したがって、今子どもたちが掃除をしたり管理をするのが大変、難儀なのではないか。当時は360人の定員に近い人数がいて管理をしていたと思うんですね。今はその半分どころか、3分の1、4分の1になっている。その子どもたちがあの広い建物を管理している、使っていない教室もたくさんあるだろうし、老朽化もしている。

その時に今年の4月から義務教育学校、いわゆる小中一貫校が始まっています。あちこちで子どもたちの学力を向上させたり、登校拒否の児童をなくすためには非常に効率の良い、効果のある方式だと言われており、既にやっているところもある訳です。そういったことを検討する時には、あの小学校の隣、まさに保育園を造ろうということが最有力の候補地ではないのかなと私は思いますが、こういったことは十分研究されたのでしょうか。

もう一つは、中学校の建物は全く問題ないと。義務教育学校を研究、検討するとか、建物の老朽化を考えているということは全く無いのでしょうか。

この2点をまずお伺いしたいと思います。

（「議長、住民福祉課長」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、住民福祉課長。

住民福祉課長（原田英一君）

まず、子ども子育て会議の側、保育園側の担当としてお話しをさせていただきますと、子ども子育て会議の中には小学校の校長先生、教育長にも入っていただいています。したがって、そこで中学校の建物の老朽化の度合いであったり、小中一貫の話しまでは子ども子育て会議の中ではしておりませんが、当然教育長が入っておりますので、教育委員会として

の考えの中で、放課後児童クラブの横に保育園を持っていくということについてはお認め頂いていると思いますが、中学校の関係については私からはお答えできませんので教育長か課長の方から答えていただければと思います。

(「議長、教育長」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、教育長。

教育長 (平松伸一君)

現在の中学校の関係でございます。中学校につきましては、築後 43 年になりました。改修等についてもその経過の中で必要があるという事で、昨年度から大規模改修を始めています。これにつきましては、ある程度お金をかけて修繕をするものですから、これからも現中学校を使う事の想定はしています。安全性の問題につきましては、当然中学校ですので、耐震改修の工事の施工をしております、問題ないということですので、安全性については問題ないと判断しています。

小中一貫についても、現在の中学校を大規模改修している最中で、3か年で一定規模を改修したいと考えていますので、その形で進めてまいりたいと思っています。

(「議長、4番」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、4番。

4番 (森田昭夫君)

子どもの教育というのは、私が思うには、保育園もそうなんですが、建物や箱じゃないんです。中身なんです。一番大事なのは。建物が大丈夫だからとか、大規模改修をしているからという事なんですが、小中一貫教育のことは全く考えていない訳なんです。全国的に小中一貫教育が始まろうとしているんです。今から検討しては遅いんです。その時に東栄町は小学校を造ってしまったばかりなんです。もう動かしようがないんです。その時に中学校はかなり古くなってきている、こういったグランドデザインを全く無しに、あそこにあるからあそこに持っていく、これはあまりにも簡単すぎる、浅香過ぎる。こういった議論をしつかりすべきなのではないかと思います。そういった研究や検討をされたのかの質問を先程しましたがまだ回答をいただけていません。そのことについて、研究や検討が必要だと思うんですが如何でしょうかという事です。

そのことともう一つ、保育園というのは子どもたちが先生や保育士の言葉で何か動くというよりも、音楽などの音で動くことが成長期の子どもですから非常に多いと思います。豊根や設楽でもやっているから小学校の横にあっても問題ないとおっしゃっていますが、そばにあればやっぱり遠慮しなければならぬですね。雨が降っていれば確かに子どもたちは外に出ていないでしょう。だけど、晴ればおそらく外で活動することが多いはず。その

時に、いろいろな子どもたちの動きは音楽でやることが多いと思います。もうひとつ、例えば運動会などの行事ごとがあるとき、保育園は行事ごとが多いところだと思います。その行事ごとは外で練習することが多いわけです。室内よりも。だからしょっちゅう音が出ているわけですね。先程言葉も出ていましたが、街の中では保育園や幼稚園を造ってほしくない、うるさいという私には考えられない問題が起きているわけです。それだけ音は外に出てしまうんですね。先程の委員会の答弁の中では「問題ない」とおっしゃっていましたが、今の小学校を防音工事でもやるつもりなのでしょうか。それとも、もうすでに防音工事ができていたら問題ないというふうに考えておられるのでしょうか。その2つをお伺いします。

議長（伊藤芳孝君）

4番さん、中学校は補正予算にあがっていないのですが、中学校の問題は。その中学校に保育園の移転、建設をするということを知りたいわけですか。

4番（森田昭夫君）

あそこへもし中学校を移転する場合は、あそこが最有力地になるものですから、保育園をあそこに造るのはいささか問題ではないかということの思い、そういった検討はされているかどうか、検討せずにあそこへやっちゃったのかという意味でお伺いしているわけです。

（「議長、町長」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、町長。

町長（村上孝治君）

今言われたランドデザインの話ではありますが、過去もそうだったと思っています。したがって、中学校があそこに行けば小学校、中学校が一緒になる訳で、今の問題もまた発生しますし、中学校のところに給食センターを造りました。それは、その時点でそういう状況であったという中で中学はあのままいく。小中一貫教育は同じ場所になればいけない教育ではないと私は思っています。ですから、離れていても小中の一貫教育はその中で連携が取ればできるというように思いますし、今の最善の方法は、保育園があそこに行った場合、今後1年の間に小学校と協議をしながら保育園の先生方と一緒に運動会をやるとか、そういったことは小中一貫を含め、保小一貫もできるわけです。そういう状況を作っていただくことは校長先生にもお願いをしています。現場にも。4番議員さんが言われるように保育の質は人だと言います。確かに人です。その中で保育士が確保できないという状況は、このあいだもお話しをさせていただきました。4月からの採用は今年度の募集に一人もかかりませんでした。そういう状況の中で、全員協議会でお話しをしたように、28年度は21人が生まれたわけです。そういった方が1年遅らせていくたびに未満字を預けて仕事に出たいというお母さんの要望もある訳です。ですから、先程8番議員さんが言われたように、保護者は変わっていきます。しかし、27年からは保護者間をつないでいただいています。そういう状況の中で、責任を持って保育園はアンケート調査を行っていただいたり、意向調査をさせ

ていただきました。それから現場も保育園同士の研究会を担当者が入って数回やらせていただいています。そういう状況の中で、1年遅らせれば遅らせるほど保育の状況は大変になってくるわけです。

議会でも一般質問を何回もされています。その中でも答弁をさせていただきました。それから定例会の大綱説明でそういった行政報告をさせていただいています。その中でもそのような発言をしていると思います。反省材料はやはり所管の委員会を開くべきだったという反省がある訳でございますが、しっかりそのことを議論していただきたいと思います。

それは、過去にやはりあの場所をそういう状況で来なかったという責任、私も職員でしたので当然その反省をさせていただきますが、小学校を建ち、あそこに今回本郷校舎を壊させていただいたところは役場庁舎に改修するという事で動いてきたわけです。ですから、そういう状況が今になってそうなったということです。総合計画も28年度から始まっています。その中でしっかり将来に向かってどうするのかということをお皆さんにも考えていただきたい。決して執行側だけが勝手にやっているという状況ではありません。反省はしっかりしていきます。ですから、そういう状況をしっかり見据えて保育園がどうあるべきかを検討していただきたいと思います。以上です。

(「議長、4番」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、4番。

4番 (森田昭夫君)

質問もあまりできませんので最後になります。町長が言われるように、まさにそういった議論をするところがここなんです。そういった議論も無しに、8番議員が言われたように突然出てきた。私も突然出てきたという感は否めません。こういったまさに将来のグランドデザインをしっかりと作っていく、考えていくというのがこういった場であり、住民の皆さんの意見を聞くのがそれぞれの諮問機関で、子ども子育てなどの委員会の意見を聞いて、こういったところで財政の問題だとか将来のグランドデザインをしっかりと組み立てていく、それがこの場だと思います。ここでこういった議論がされていません。

先程の小中一貫教育で、離れていても十分できるとおっしゃっていましたが、これは少し勉強不足でないのかなと思います。小中一貫教育をやるには、離れていてもできるものと、近くにあるものとは効果、効率が全然違う訳です。小中一貫というのは遅れないように、もうすでに遅れていますので、急いで小中一貫教育というのは研究、検討すべきだということを考えています。そのためにはどうしたら良いのか、離れていても良いのか、あるいはいろいろな例を見て離れて造っているのか、どうしても財源的に無理な場合は離れて小中一貫教育をやっているところがありますが、建物を新しく造ったり、これから考えるところは全部そばに造ってやっているわけですね。中には同一の建物の中でやっています。何故そんなことがあるのか。何故そうしなければならないのか。それは何らかの理由があるはずですから、その理由を充分研究、検討しなければならない。その結果をこういったところで発表していただいて、この中でグランドデザインを作っていく。そういったことをしなくてはいけないと思

いますので、時期尚早ではないかと、もっともっと研究、勉強をする必要があるのではないのかなど。この間の全協の中でも言いましたけど、議会は町政の暴走を止める大事なブレーキという責務があります。もっともっと研究をすべきなのではないか、考えるべきだという事を指摘させていただきます。

最後の質問ができますのでもう一つ聞きたいと思います。先程の質問の病院の問題の中で、これは病院の話の中での回答の一部ですが、何かを増やすのには何かを減らさなくてはならない。だから、そういったこともこれから研究をしていくという病院での話しの回答だったというふうに聞きました。となると、4億円もの費用を使って、4億円すべてが町費を使うわけではありませんが、ある程度の借金と町費を使う訳です。そうすると、何かを増やして何を減らすのか、減らすものはまだあるのかの研究をしているのかお伺いしたいと思います。

(「議長、副町長」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、副町長。

副町長 (伊藤克明君)

先程町長の回答の中に、総合計画の実施計画の3か年計画を立てながらやっていくという話がありました。30年度の予算につきましては、今月から重点、重要事業について各担当部署とヒアリングをしながら、また、財政を含めながら進めていきたいと思っています。その中で今回の保育園につきましても、きちっとその土俵の中に乗せた中で、全体を見てヒアリングをし、優先順位をつけながらその計画の実行と30年度の予算に反映したいと考えていますので、それらを進める中で整理をしていきたいと考えています。

議長 (伊藤芳孝君)

はい、他はよろしいですか。

(「議長、1番」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、1番。

1番 (伊藤久代君)

本年度より、議会が審議会に加わる事が無くなりました。そのため、今このような審議がされているという事が議会には大変わかりづらくなっています。そのため、執行部は細目に議会に情報を提供し、議会と情報の共有化を図って行かないと議会と執行部の乖離は深くなっていくと考えられます。今回の新保育園開設に伴う整備のための設計事務に係る予算2,160万円についての補正が上程されたわけですがございますけれど、スケジュール表を見ますと、子育て審議会が7月と8月に開催され、9月には新設保育園の場所の選定も含め、

議会に補正予算の2,160万円が上程されました。議会開会に先立ちまして、議会運営委員会で「保育園新設についての説明は今までにあったのか」との質問が出ましたが「無かった」との答弁がありました。ほんの数日間だけで議会に場所の選定、保育園2園を1園にするための審議、そしてそのための予算化を審議することは無謀であると考えます。議会にもしっかりとした調査、審議の時間を与えられるべきだと思っています。以上のことにつきまして私はそういうことについての反省を求めたいと思います。

(「議長、町長」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、町長。

町長 (村上孝治君)

意見は意見としてお伺いし、先程も申し上げましたように反省するところは反省したいと思います。よろしくお願いします。

議長 (伊藤芳孝君)

よろしいですか。次に、歳入全般について質疑をお願いします。質疑はございませんか。

(「なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

(「議長、6番。反対討論」の声あり)

反対討論ですか。原案に反対ですか。

(「はい」の声あり)

原案に反対者の発言を許します。6番。

6番 (山本典式君)

私は反対討論をさせていただきます。今回の新設保育園建設に伴う基本設計費2,160万円が計上されていることについて、下記の理由をもって反対します。

現在具体的にスタートを切っている医療センターの整備を始め、先日、中間報告のあった病院の公設公営への転換、これらに伴う財政的な問題等が解決をみていない現在、新たな事業として新設保育園建設を、ここが言いたいんですけど、同時進行させることについては、まだ十分研究検討をする必要があるという理由で反対させていただきます。以上です。

議長 (伊藤芳孝君)

はい。次に、原案に賛成者の発言を許します。

(「議長、5番」の声あり)

はい、5番。

5番（加藤彰男君）

本定例会に上程されています補正予算への賛成の立場から、討論いたします。

今回の補正予算の追加補正額4,220万円には、新保育園設計委託料2,160万円をはじめ、社会保障・税番号制度に対応するシステム改修、さらに有害鳥獣駆除委託料、住宅リフォーム事業補助金、そして急傾斜地崩壊対策事業費の負担金など、住民の暮らしや安全に係わる事業費が計上されています。いずれの事業についてもこの第3回定例会において、補正予算が議決され速やかに執行される必要がある事業ばかりです。

また「新保育園設計委託料」については、これまで議員から新園建設に向けての情報提供のあり方、建設費の財源などについて意見が出されてきましたが、執行部からは、今回の保育園建設を含め、行政の委員会での論議や経過を適時議会に伝えていくことや、財源は国などの補助制度や特定基金の活用、または財政計画に位置付けをし、過疎債の枠内での検討する方向の説明がされています。まさに、計画性を持った事業の進め方や、財政の健全性を担保した財政計画などを、執行部でも改めて認識していると理解しています。

新園建設の発注者は町ですが、もう一つの主体は保護者、保育士などの職員とも言えます。これまで担当課が保護者・職員からのアンケートや懇談会などの意見集約を行い「子ども子育て会議」の議論でも一定の合意がおこなわれてきています。今回採用する「プロポーザル方式」は優れた設計者を選定し、その後、基本設計段階まで設計者と発注者が一緒になって新園の建築プランを何度も練り上げていき、これを終えて実施設計に入るというプロセスです。時間的な余裕という点もありますが、この設計者と発注者、まさしく保護者・職員も含めたこの十分な意思の疎通を図りながら、設計プランを一緒に練り上げていくというこの工程をしっかりおこなうことで、本郷・下川の両保育園の保護者、職員の皆さんの「願い」や「思い」が託される新園建設が可能となります。

執行部には、財政健全化を基本に財源の裏付けを充分おこなうことや、プロポーザル方式の優位性を生かし、保護者・職員の中心にした設計プランを作り上げること、そして議会をはじめ関係機関に適時報告することを求め、本補正予算の議決に賛成いたします。

以上で、本補正予算への賛成討論を終わります。

議長（伊藤芳孝君）

はい、他に討論はございませんか。

（「議長、4番。反対です」の声あり）

はい、4番。

4番（森田昭夫君）

私も反対をさせていただきます。ただいま委員長から賛成の討論がありましたが、私どもは決して他の、例えばカモシカ対策だとか急傾斜地などの他の予算に反対しているわけではないんです。保育園の設計はいかにも尚早すぎると、保育園のことにだけ反対をしているわけです。また、子育て会議などで「意見を集約してきた」という話しですが、参加した皆さんは賛成をしたかもしれませんが、私の耳には一部で反対をしている意見もかなりあります。

もうひとつ「子育て支援」と言いますが、子どもというのは保育園の園児だけではないんです。先程言ったとおり、小学校も中学校も東栄町の大事な子どもたちなんです。その大事な子どもたちの将来、これからを考えるには、まだまだ十分な議論がされていない。中学校や小学校の子どもたちのことも含めて、ランドデザインをしっかりと作って、将来はこうあるべき、こうすべきだという事を考えて、議論をして、そして保育園をスタートさせていく。そういった時間があまりにも無さすぎますので私は反対をします。

議長（伊藤芳孝君）

はい。次に、賛成者の発言を許します。

（「議長、2番」の声あり）

はい、2番。

2番（原田安生君）

それでは、本補正予算に賛成の立場で討論をさせていただきます。

今、非常に議論になっている保育園建設の委託料についてでございますが、この件についてはですね、私どもは27年度からの「子ども子育て会議」のことは耳には入っておりました。周りからもそのような話をちょこちょこ聞きました。反対の方が言われることは確かではありますが、今の状況を考えた時にですね、若者の定住、子育て支援、いろんな政策を今打って、なんとかこの過疎に歯止めをかけようじゃないかというような考え方で執行部の方は動いているというふうに、私は認識をしています。

また、病院の大きな事業、保育園も4億というような話が出ていますが、そういうもの考える中で、裏付けができなければここには出てこないと思うんですよ。ある程度の裏付けを持って執行部はここに出されたというふうに私は認識をしております。

先程5番議員が言われましたが、非常に大事な補正予算も入っております。以上を申し上げて私はこの補正予算に賛成の立場を表明して討論を終わります。

議長（伊藤芳孝君）

はい、他に討論はございませんか。よろしいですか。以上で討論を終わります。

これより議案第54号の件を「起立」により裁決します。本案は、原案のとおり可決することに賛成の方は「起立」をお願いします。

<起立 5人>

議長（伊藤芳孝君）

はい、起立多数であります。よって議案第54号『平成29年度東栄町一般会計補正予算・第4号について』の件は、原案のとおり可決されました。

----- 議案第 55 号 -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 18、議案第 55 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算・第 2 号について』の件を議題といたします。議案第 55 号の質疑に入ります。補正予算説明書の「歳入」「歳出」全般についてお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

討論なしと認めます。これより、議案第 55 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 55 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険特別会計補正予算・第 2 号について』の件は原案のとおり可決されました。

----- 議案第 56 号 -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 19、議案第 56 号『平成 29 年度東栄町介護保険特別会計補正予算・第 2 号について』の件を議題といたします。議案第 56 号の質疑に入ります。補正予算説明書の「歳入」「歳出」全般についてお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、議案第 56 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 56 号『平成 29 年度東栄町介護保険特別会計補正予算・第 2 号について』の件は原案のとおり可決されました。

議案第 57 号

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 20、議案第 57 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第 2 号について』の件を議題といたします。議案第 57 号の質疑に入ります。補正予算説明書の「収入」「支出」全般についてお願いします。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、議案第 57 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 57 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第 2 号について』の件は原案のとおり可決されました。

議案第 59 号

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 21、議案第 59 号『東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正について』の件を議題といたします。提出者の説明を求めます。

(「はい。議長、8 番」の声あり)

はい、8 番。

8 番 (柴田吉夫君)

議案第 59 号東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正について。東栄町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例を次のとおり定めるものとする。平成 29 年 9 月 20 日提出。提出者東栄町議会議員、柴田吉夫。賛成者東栄町議会議員、加藤彰男。

東栄町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例。東栄町議会議員の定数を定める条例(平成 11 年東栄町条例第 20 号)の一部を次のように改正する。本則中「10 人」を「8 人」に改める。附則、この条例は、平成 31 年 1 月 1 日以後初めてその期日を告示される一般選挙から施行する。

提案理由。町民の多様な声を町政に反映するには、人口等に応じた一定の議会議員の確保が必要であるが、東栄町の人口は年々減少が続いており、今後においても大きな人口増加は見込めない。また、東栄町の財政状況は一層厳しさを増しており、既存事業の見直しなど効率的な行政運営が求められている。このような状況を踏まえ、少数精鋭で議会の果たす役割を遂行するため、現行議会議員定数 10 人を 8 人とすることを提案する。

以上であります。なお、本条例の一部改正に至るまでの経過につきましては、議会事務局長から説明をさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

議長 (伊藤芳孝君)

それでは、条例改正に至るまでの経緯について、事務局長に説明させます。

(「議長、議会事務局長」の声あり)

議会事務局長。

議会事務局長 (栗嶋賢司君)

それでは「東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正」の提出に至るまでの経緯について説明申し上げます。

「議員定数のありかた」につきましては、平成 28 年 3 月の「議会改革検討委員会」で検討をしていくことを決め、平成 28 年 6 月から本格的な調査研究を開始いたしました。検討にあたっては、これまでの東栄町議会議員の定数の推移や、近隣町村をはじめ、全国の類似規模の地方議会の状況も参考にしながら、東栄町としてのふさわしい議員定数を検討し、仮に議員定数を削減した場合は、そのメリットやデメリット等についても検討を重ねてきました。

その結果、現在の人口や、今後の人口推移を踏まえ、議会改革検討委員会として、議員定数を現行の 10 人から 2 人減員して 8 人とする一定の方向付けをし、平成 28 年 9 月の区長会と、町民の方へは 11 月発行の「議会だより」でその旨を報告いたしました。

また、議員定数が減ることによって監視機能や、町民の多様な意見の反映が低下することがないように、常任委員会委員の定数を増やすなどの構成変更によって、議会機能の維持・充実を図ることとし、平成 28 年 12 月の区長会でその旨の報告を行いました。

区長会からは「町民の声を聴く機会を設け、生の声を聞きながら結論を導いてほしい」という意見が寄せられ、平成 29 年 4 月から 5 月にかけて「議会報告会」を開催して、議員定数に対する考え方をお示しするとともに、町民の方のご意見等を賜りました。その結果につきましては、東栄町ホームページへの掲載、組内回覧、8 月発行の「議会だより」で報告をいたしました。

以上の経緯を踏まえ、平成 29 年 7 月に議会改革検討委員会委員長から東栄町議会議長あてに「次の一般選挙から議員定数は 8 人とする」との検討結果の報告がされ、議長は条例改正に向けた審議を議会運営委員会に付託いたしました。

8 月 16 日に行われた議会運営委員会で、9 月定例会に「東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正」を上程することを決め、9 月 7 日の議員協議会で最終確認をしたうえで、本日の条例改正案の上程となりました。以上です。

議長（伊藤芳孝君）

はい、議案第 59 号の説明及び経緯の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で議案第 59 号の質疑を打ち切ります。続いて本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより、議案第 59 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 59 号『東栄町議会議員の定数を定める条例の一部改正について』の件は可決されました。

----- **議案第 60 号・61 号** -----

議長（伊藤芳孝君）

ここでお諮りします。日程第 22、議案第 60 号『平成 29 年度東栄町一般会計補正予算・第 5 号について』と、日程第 23、議案第 61 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業

特別会計補正予算・第3号について』は、関連がありますので一括議題と致したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認め、議案第60号、議案第61号を一括議題と致します。提出者の説明を求めます。

(「議長、副町長」の声あり)

はい、副町長。

副町長 (伊藤克明君)

それでは、まず一般会計の補正予算から説明させていただきます。補正予算書の1ページをお開き下さい。

議案第60号平成29年度東栄町一般会計補正予算・第5号について。平成29年度東栄町一般会計補正予算・第5号案を別紙のとおり提出するものとする。平成29年9月20日提出東栄町長村上孝治。

1枚おめくり下さい。平成29年度東栄町一般会計補正予算・第5号。平成29年度東栄町一般会計補正予算・第5号は、次に定めるところによる。歳入歳出予算の補正。第1条既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,672千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3,211,195千円とする。2歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は「第1表歳入歳出予算補正」による。

第1表歳入歳出予算補正。歳入、18款繰越金3,672千円。計3,672千円。歳入合計3,211,195千円。1枚おめくり下さい。歳出、4款衛生費3,672千円。計3,672千円。歳出合計3,211,195千円。

それでは、予算説明書により説明させていただきます。歳出からお願いします。4ページをお開き下さい。

4款1項1目保健衛生総務費の28節3,672千円は、国保東栄病院事業特別会計の補正による増額であります。

次に歳入を説明させていただきます。3ページをお開き下さい。今回の補正の財源は、18款1項1目繰越金を充てさせていただきます。以上で一般会計補正予算の説明を終了させていただきます。

では続いて、東栄病院事業特別会計補正予算についての説明をさせていただきます。

補正予算書の表紙を1枚おめくり下さい。議案第61号平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第3号について。平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第3号案を別紙のとおり提出するものとする。平成29年9月20日提出東栄町長村上孝治。

1枚おめくり下さい。平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第3号。第1条平成29年度国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第3号は次に定めるところによる。第2条平成29年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計予算第2条に定

めた業務の予定量を次のとおり補正する。1 主な建設改良事業、(1) 有形固定資産購入費、補正額 7,344 千円。計 34,105 千円。第 3 条平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計予算第 4 条に定めた資本的収入及び支出を次のとおり補正する。資本的収入が資本的支出額に対して不足する額 35,065 千円は、過年度分損益勘定留保資金 35,065 千円で補てんするものとする。収入、第 1 款資本的収入補正額 3,672 千円。支出、第 1 款資本的支出補正額 7,344 千円。計 68,060 千円。第 4 条平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計予算第 6 条に定めた一般会計からこの会計へ繰り出しする金額を次のとおり補正する。一般会計出資金建設改良費、補正額 3,672 千円。計 9,399 千円。

それでは、予算説明書により説明をさせていただきます。予算説明書の 7 ページをお開き下さい。支出、1 款 1 項 2 目有形固定資産購入費 7,344 千円。デジタル式汎用 X 線透視診断装置制御盤取替については、先々週の 9 月 8 日に定期保守点検のため電源を入れたところエラーが発生し、その後の点検により制御装置の故障と判明し一旦は使用可能となりましたが、その他の作業中に再びエラーが発生し早急な制御装置の交換が必要と判断したことによるものです。この装置は、バリウム検査や医療及び大腸検査など比較的使用頻度の高いものであり、先週の 11 日と 13 日も使用予定であったことから 9 月 9 日及び 10 日の 2 日間で先に交換作業をさせていただきました。このことにつきましては、11 日の一般質問終了後に議会に報告させていただいたとおりです。次に収入ですが、1 款 1 項 1 目一般会計出資金 3,672 千円で、不足分は過年度分損益勘定留保資金で補てんします。

以上で国民健康保険東栄病院事業特別会計の補正予算の説明を終了させていただきます。

議長（伊藤芳孝君）

議案第 60 号及び議案第 61 号の説明が終わりました。これより質疑に入ります。議案第 60 号及び議案第 61 号を一括して質疑を行います。質疑はございませんか。

（「議長、4 番」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、4 番。

4 番（森田昭夫君）

手続きについてお伺いします。今これ一般会計と病院の特別会計可決したばかりですよね。先に。それでまたここで追加提案で、普通はこれ法的にまずあり得ないんですね。同じ議会の中でここで。あり得ない想定外の聞いたことも見たこともない。こんなことは前例がないんじゃないのかなど。緊急で修理をしなきゃならないということはもちろん事前に聞いてますので、普通なら例えば先に上程したやつを差し替えるとかあるいは中身を変えて提案し直すという手続きがあったかと思うんですが、何故こんなことをやられたのか技術的なことをお伺いしたいと思います。

（「議長、副町長」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、副町長。

副町長（伊藤克明君）

手続き的な話ですが、過去にもこういった形で最終日に追加提案をさせていただいたこと
はございます。一旦上程させていただいた2号につきまして、追加するという形で今回出さ
せていただきましたので、こういった形がとるべき形かということでやらさせていただいたも
のであります。

（「議長、4番」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、4番。

4番（森田昭夫君）

例えば上程したやつを数字を入れ替えるというのは、そんなに難しい話じゃないでしょう。
先にこれだけ手配したけどこれだけ変更するというのは、そんなに難しい話じゃなくていま
なら簡単に出来るんじゃないのかなと思うんですが、1度このへんの手続きは是非とも研
究・検討した方がいいじゃないかなと思いますので、そのことは指摘しておきます。今いか
にも恰好がおかしい。一般会計も東栄病院会計も可決したばかりでまた次のやつが上程さ
れるってなんか変じゃないのかなと。やっぱりこのへんの手続きは、議会とともに執行部と
一緒に研究をしていただきたいと思いますのでお願いします。

議長（伊藤芳孝君）

はい、他はよろしいですか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切り、本案について討論に入ります。討論はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、討論なしと認めます。これより議案ごとに採決をいたします。はじめに、議案第60
号の件を採決いたします。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませ
んか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 60 号『平成 29 年度東栄町一般会計補正予算・第 5 号について』の件は可決されました。

.....

議長（伊藤芳孝君）

次に、議案 61 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって、議案第 61 号『平成 29 年度東栄町国民健康保険東栄病院事業特別会計補正予算・第 3 号について』の件は可決されました。

----- 意見書第 1 号 -----

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第 24、意見書第 1 号『道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書案の提出について』の件を議題といたします。提出者の説明を求めます。

（「議長、8 番」の声あり）

はい、8 番。

8 番（柴田吉夫君）

意見書第 1 号。道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書（案）の提出について。地方自治法第 99 条の規定による別紙意見書（案）を東栄町議会会議規則第 13 条の規定により提出する。平成 29 年 9 月 20 日提出。提出者東栄町議会議員、柴田吉夫。賛成者東栄町議会議員、峯田明。

内容の詳細につきましては、議会事務局長から朗読・説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

議長（伊藤芳孝君）

はい、それでは議会事務局長に説明させます。

（「議長、議会事務局長」の声あり）

はい、議会事務局長。

議会事務局長（栗嶋賢司君）

それでは、道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書（案）について朗読します。

道路は、住民の安全・安心な暮らしや、持続的な地域の発展や経済社会成長を支えるのと

もに、災害時には住民の命を守るライフラインとして機能するなど生活になくてはならない重要な社会基盤である。

現在、道路事業においては「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律（以下「道路財特法」という）の規定により地域高規格道路や交付金事業の補助率等が嵩上げされ、道路整備に対する格別の配慮がなされているが、この措置は平成 29 年度までの時限措置となっている。地方創生、人口減少対策に全力を挙げて取り組んでいるこの時期に補助率が低減することは、地方の努力に水を差すものであるとともに、当町が目指す定住・交流を支えるまちづくりの実現にも不可欠な道路整備の推進に大きな影響が及ぶことが懸念されるところである。よって、道路整備を引き続き推進するため、下記の事項について強く要望する。

記。 1、地方創成の実現に向け、道路整備に必要な予算を確保すること。 2、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成 30 年度以降も継続・拡充すること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。平成年月日。愛知県北設楽郡東栄町議会。提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣、地方創生担当大臣でございます。

1 点本文の中に地方創生の創生の字が間違っておりますので、修正した上でご審議をお願いします。以上です。

議長（伊藤芳孝君）

提出者の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。本件は討論を省略して直ちに採決に入ることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。意見書第 1 号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって意見書第 1 号『道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書案の提出について』の件は原案のとおり可決されました。

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第25、意見書第2号『定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書案の提出について』の件を議題といたします。提出者の説明を求めます。

（「議長、5番」の声あり）

はい、5番。

5番（加藤彰男君）

意見書第2号。定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）の提出について。地方自治法第99条の規定による別紙意見書（案）を東栄町議会会議規則第13条の規定により提出する。平成29年9月20日提出。提出者東栄町議会議員、加藤彰男。賛成者東栄町議会議員、伊藤久代。

内容の詳細につきましては、議会事務局長から朗読・説明をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

議長（伊藤芳孝君）

はい、議会事務局長に説明させます。

（「議長、議会事務局長」の声あり）

はい、議会事務局長。

議会事務局長（栗嶋賢司君）

それでは、意見書を朗読いたします。

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）。未来を担う子どもたちが夢や希望をもち、健やかに成長していくことは、すべての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では子どもたちの健全育成にむけて真摯に取り組んでいるものの、いじめや不登校、非行問題行動を含めた、子どもたちをとりまく教育課題は依然として克服されていない。また、特別な支援を必要とする子どもや日本語教育の必要な子どもも多く、適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。

昨年度、文部科学省は、10年間で29,760人の教職員定数改善の考え方を示し、その初年度分として3,060人の定数改善を盛り込んだ。しかし、少人数学級の推進や教職員定数改善計画は示されておらず、不十分であると言わざるを得ない。さらに、政府予算においては、いじめや不登校などに対応する教員の加配は395人とどまるとともに、教職員定数全体を子どもの自然減以上に削減することが盛り込まれるなど、子どもたちの健やかな成長を支えるための施策としては、大変不満の残るものとなった。

山積する課題に対応し、すべての子どもたちに行き届いた教育を行うためにも、少人数学級の更なる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。また、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請で

ある。

しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率を2分の1へ復元することは、国が果たさなければならない大きな責任の一つである。よって貴職においては、平成30年度の政府予算編成にあたり、定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。平成年月日。愛知県北設楽郡東栄町議会。提出先は、内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣でございます。以上です。

議長（伊藤芳孝君）

提出者の説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、以上で質疑を打ち切ります。本件は討論を省略して直ちに採決に入ることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

ご異議なしと認めます。意見書第2号の件を採決します。お諮りします。本案は原案のとおり決するにご異議はございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（伊藤芳孝君）

はい、ご異議なしと認めます。よって意見書第2号『定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書案の提出について』の件は原案のとおり可決されました。

継続審査

議長（伊藤芳孝君）

次に、日程第26『議会運営委員会の閉会中の継続審査について』の件を議題といたします。議会運営委員長から次期定例会の会期日程等、議会運営に関する事項及び諮問に関する事項

について、会議規則第 73 条の規定により、閉会中の継続審査の申し出があります。

ここでお諮りします。委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査に付することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (伊藤芳孝君)

はい、ご異議なしと認めます。よって委員長から申し出のとおり閉会中の継続審査に付することに決しました。

----- 閉 会 -----

議長 (伊藤芳孝君)

以上で、本定例会に付議されました案件は、全て議了いたしました。会期中、皆様方のご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

これもちまして、『平成 29 年第 3 回 東栄町議会定例会』を閉会いたします。